

様式1 令和7年度 山梨県立わかば支援学校ふじかわ分校学校評価計画(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	たくましい力、ゆたかな心を育てる
-----------	------------------

山梨県立わかば支援学校ふじかわ分校 校長 金丸 学

本年度の重点目標	1. 特別支援教育の推進	達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	2. 保護者や地域との連携の推進		B 概ね達成できた。(6割以上)
	3. 安全・安心な学習環境の充実		C 不十分である。(4割以上)
	4. 教職員の働き方改革の推進		D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価						
番号	評価項目	本年度の重点目標 具体的方策	方策の評価指標	年度末評価(令和8年1月19日現在)		
				自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	特別支援教育の推進	(1)教職員の専門性の向上を図る。	・研修会・学習会の実施	・長期休業中に積極的に講習を受講した。 ・センターの研修以外にも個人的にAI・てんかん・心肺蘇生法等について研修した職員もいた。	B	・個人研究が分校統一のテーマの研究が今年度中に方向性を決めたい。
		(2)授業力・授業づくりの向上を図る。	・相互授業参観の実施 ・ICT研修の実施	・相互授業参観により、各種の気づきを待たり自身の授業を見直すきっかけとなり有益であった。 ・ICT研修については、教務係を中心にBLENDの研修を行い、その操作に慣れることができた。	B	・教材を共有するシステムも今年から本格始動したので、教材を共有し、ブロック、学部、分校で話し合いを重ね情報を共有し、相互授業参観やICT研修により、授業力・授業づくりの向上を図りたい。
		(3)「個別的教育支援計画」・「個別の指導計画」を活用した適切な指導及び必要な支援の提供をする。	・年間重点目標を学部・ブロックで検討して記載 ・「特別の教科道徳」は合わせた指導の欄に記載 ・合わせた指導の観点別目標の記載は、主に合わせた教科の目標を観点別にバランスよく記載	・年間重点目標を学部・ブロックで検討して記載することができた。 ・「特別の教科道徳」は合わせた指導の欄に記載することができた。 ・合わせた指導の観点別目標の記載は、主に合わせた教科の目標を観点別にバランスよく記載することができた。	B	・評価規準を適切に設定できているかどうかについて研修を重ねていきたい。
2	(2)交流及び共同学習や地域支援を通して、圏域の特別支援教育を推進する。	(1)PTA行事を企画し、学校と保護者、保護者同士の連携を図る。	①進路学習会や施設見学を実施し、進路について啓蒙を図る。 ②PTA作業等とおして、保護者と学校が協働して活動する雰囲気醸成する。	・進路学習会や施設見学を実施できた。 ・PTA作業を実施できた。	B	・保護者の要望を受けて施設見学場所や学習会の講師を計画したい。 ・PTA活動を単独で行うのではなく来校する機会に合わせて計画したい。
		(2)地域交流や学校間交流の機会確保に努め、直接交流を実施できるよう計画する。	①地域交流や学校間交流の機会確保に努め、直接交流を実施できるよう計画する。 ②地域の関係機関との顔の見えの連携を図る。 ③地域の関係機関との連携の様子を地域支援だよりで校内外に周知する。	・計画的に交流及び共同学習を実施できた。 ・各種協議会への参加や教育相談等の実施 ・地域支援だよりを発行して配付できた。	A	・中学部の交流相手校も交流を継続したい意向であるので年2回の交流をお願いしていきたい。 ・各種協議会への参加や教育相談等を実施したり、地域支援だよりを発行し、地域のセンター的機能果たしていきたい。
		(3)スクールバスの安全運行に努める。	①感染症対策を徹底する。 ②救急体制の周知徹底を図る。 ③スクールバスの安全運行に努める。	・日常の中での手洗い、消毒等呼びかけ徹底できた。 ・緊急時シミュレーションや嘔吐研修を実施できた。 ・添乗日誌の確認や対面での情報交換を行い連携を密に取ることができた。	A	・一昨年にてんかん発作を起こした生徒が在籍するのでてんかんに対する研修も従来行っている研修に加えて実施していきたい。 ・いじめの未然防止の観点もあり、スクールバスの添乗日誌の回収を副校長のみから生指事・副校長の順に回収し、生指事から必要に応じて学部主事にも情報共有してもらうように変更したい。
3	(2)児童生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう災害時や緊急時に備える。	(1)児童生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう感染症対策、緊急時対応など周知徹底を図る。	①危険管理マニュアルを見直し、全体に周知する。 ②避難訓練や引き渡し訓練を実施する。 ③非常食や備蓄品を適切に管理する。	・分掌会議でマニュアルを検討できた。 ・職員にマニュアルを周知できた。 ・適切に訓練を実施できた。 ・非常食や備蓄品を計画的に入れ替えることができた。	A	・不審者侵入訓練については、警察から、不審者が校内に入ってしまうと対処が難しくなるとの指摘を受け、最初に外来者と接する事務室の職員とも連携して、分校の正面玄関から不審者が入って来た場合を想定した訓練を行いたい。
		(2)児童生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう災害時や緊急時に備える。	①健康教育推進のため、職員の健康管理を推進する。 ②勤務振替、年休消化の実践により私生活を充実させ教育の充実へ反映させる。 ③研修の受講や資格の取得をし、専門性の向上を図ることで、教育や対応の効率がよくなり、職員の負担感が減る。	・各種検診の情報提供と職員検診の実施 ・勤務振替利用率70%以上 ・年休15日消化 ・職員が資質向上の目標を決め、研修受講をした。 ・教員情報の免許資格の取得を目指して研修を受講している教員もいた。	B	・年休の15日以上消化と勤務振替の徹底を推進したい。
		(2)児童生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう災害時や緊急時に備える。	①健康教育推進のため、職員の健康管理を推進する。 ②勤務振替、年休消化の実践により私生活を充実させ教育の充実へ反映させる。 ③研修の受講や資格の取得をし、専門性の向上を図ることで、教育や対応の効率がよくなり、職員の負担感が減る。	・各種検診の情報提供と職員検診の実施 ・勤務振替利用率70%以上 ・年休15日消化 ・職員が資質向上の目標を決め、研修受講をした。 ・教員情報の免許資格の取得を目指して研修を受講している教員もいた。	B	・年休の15日以上消化と勤務振替の徹底を推進したい。
4	教職員の働き方改革を推進するとともに資質向上を図る。	(1)健康教育推進のため、職員の健康管理を推進する。	①健康教育推進のため、職員の健康管理を推進する。 ②勤務振替、年休消化の実践により私生活を充実させ教育の充実へ反映させる。 ③研修の受講や資格の取得をし、専門性の向上を図ることで、教育や対応の効率がよくなり、職員の負担感が減る。	・各種検診の情報提供と職員検診の実施 ・勤務振替利用率70%以上 ・年休15日消化 ・職員が資質向上の目標を決め、研修受講をした。 ・教員情報の免許資格の取得を目指して研修を受講している教員もいた。	B	・年休の15日以上消化と勤務振替の徹底を推進したい。
		(2)児童生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう災害時や緊急時に備える。	①健康教育推進のため、職員の健康管理を推進する。 ②勤務振替、年休消化の実践により私生活を充実させ教育の充実へ反映させる。 ③研修の受講や資格の取得をし、専門性の向上を図ることで、教育や対応の効率がよくなり、職員の負担感が減る。	・各種検診の情報提供と職員検診の実施 ・勤務振替利用率70%以上 ・年休15日消化 ・職員が資質向上の目標を決め、研修受講をした。 ・教員情報の免許資格の取得を目指して研修を受講している教員もいた。	B	・年休の15日以上消化と勤務振替の徹底を推進したい。
		(2)児童生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう災害時や緊急時に備える。	①健康教育推進のため、職員の健康管理を推進する。 ②勤務振替、年休消化の実践により私生活を充実させ教育の充実へ反映させる。 ③研修の受講や資格の取得をし、専門性の向上を図ることで、教育や対応の効率がよくなり、職員の負担感が減る。	・各種検診の情報提供と職員検診の実施 ・勤務振替利用率70%以上 ・年休15日消化 ・職員が資質向上の目標を決め、研修受講をした。 ・教員情報の免許資格の取得を目指して研修を受講している教員もいた。	B	・年休の15日以上消化と勤務振替の徹底を推進したい。

学校関係者評価	
実施日(令和8年2月16日)	
評価	意見・要望等
3	・個人研修での成果を、職員会議で資料を提供する。または、職員の教材を共有するファイルに個人研修の資料を置く等を行って、共有する場を作った方がよい。 ・「分校まつり」を見て、児童生徒が生き生きと活動していて、それは先生方がきめ細やかで丁寧な指導をしている成果だと感銘を受けた。 ・とても良い評価を色々な人々から頂いている。様々な意見がある中で高評価を頂いていることは素晴らしい。
3	・PTA活動については、その活動が充実していて、アンケート結果からも保護者の満足度が高いのであれば、分校の自己評価結果の達成度もA評価で良いのではないかと。 ・アンケートの回答方法として、「思わない」「あまりそう思わない」「分からない」の項目については具体的に記述してもらうことを必須としてはどうか。 ・高評価を得ているのはきめ細やかな指導をしている結果と考える。
4	・分校の立地する地域は過疎化の地域ではあるが、不審者が現れる可能性もあるので注意してもらいたい。
4	・働き方改革を継続・推進していただきたい。 ・重点目標1の「特別支援教育の推進」と重点目標4の「教職員の働き方改革の推進」の両方に教職員の専門性の項目が入っているため、重点目標4からは削除した方がよい。

※重点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的な対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。